

SAKAI CITY INDUSTRIAL  
PROMOTION CENTER  
PRESS

# さかいIPC press

2010.1  
vol.15

## 特集1

竹山市長が語る

「堺の産業を元気にします」 P.1-2

## 特集2

堺注染和晒興業会が学生とコラボレーション

若者感覚の注染手拭い  
「堺一心染」で新たな需要開拓 ..... P.3-4

## ■センター NEWS ..... P.5-6

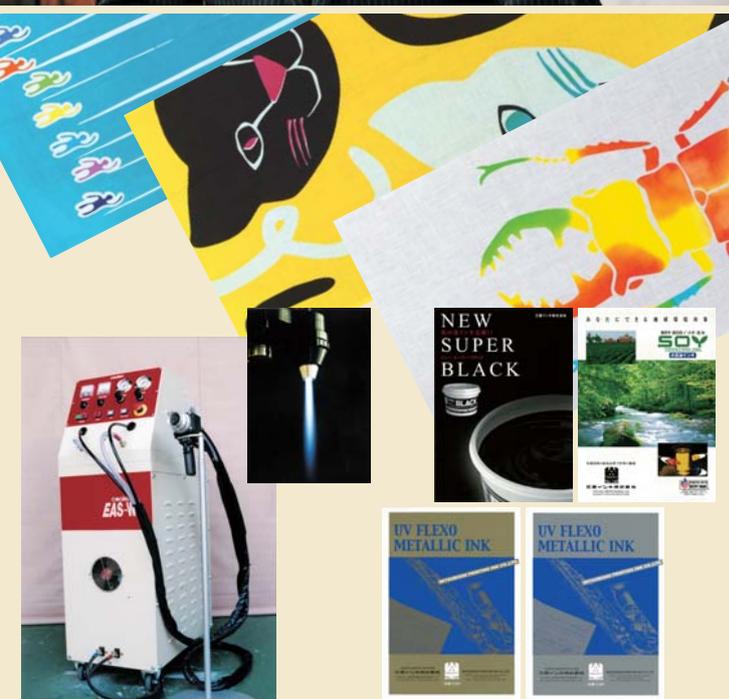
- 「第23回堺刃物まつり」を開催します!
- メトロポリタン美術館から堺打刃物の魅力を発信
- 「堺商工会議所創立130周年記念  
大産業祭 ～技・食・楽 堺ええもん大発見!～」を開催
- 「びわ湖環境ビジネスメッセ2009」に出展

## ■情報BOX ..... P.7-8

- 【セミナー紹介】
  - ・「マテリアルフローコスト会計国際標準化進捗状況等報告会」参加者募集
  - ・第3回「健康長寿産業参入セミナー」参加者募集
- 【制度紹介】
  - ・実習型雇用支援事業のご案内
- 【企業紹介】
  - ・コーケン・テクノ株式会社
  - ・三星インキ株式会社

## ■「イベントホール・研修室・会議室」貸会場のご案内 ..... P.9

## ■中小企業融資制度／中小企業の景気動向調査 ..... P.10



## 竹山市長が語る

# 「堺の産業を元気に」

市長就任後、初めて新年を迎える竹山修身堺市長に、堺の産業を元気にするための市政の運営の考えについて、お話をいただきました。



堺市長 竹山 修身

## 新年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。市長就任以来、息つく暇もなく全力で走ってきました。新しい年を迎え、あらためて「堺」のさらなる改革と発展のため、心新たに取り組む決意をしたところです。

### 閉塞感に覆われる 厳しい現在だからこそ

一昨年来の経済危機や、取引先からの値引き要請と原材料価格等の上昇との板ばさみになりながら、がんばっている企業も中にはあるけれど、依然として厳しいというのが、「ものづくりのまち」堺の中小企業の皆さんの実感ではないかと思います。

堺のまちは「進取の気風」に富み、常に新たな時代を切り拓いてきた歴史のあるまちです。閉塞感に覆われるこの時代こそ、創意工夫を活かし、再び「時代を切り拓く都市 堺」としての繁栄を取り戻したいと思っています。

### 堺浜の新たな生産拠点が 本格稼働

今年は、堺の産業全体で見ると大きく飛躍する年になります。すでに昨年10月からシャープの液晶パネル新工場が稼働を開始し、太陽電池工場も今年度中の操業に向けて現在準備中と聞いています。

この大きなうねりを絶好の機会と捉え、市域内での経済波及効果と雇用の拡大を図っていくことが重要です。新たな先端産業も、個々の部品や加工技術まで遡ると、中小企業を持つ優れた技術が支えています。

堺には、先端技術産業を支える機械、金属加工などの基盤技術を有する中小企業が数多く集積しています。堺に誕生した上述の生産拠点が求める基盤技術のニーズと、堺市内の中小企業を持つ匠の技を結びつけるため、ビジネスマッチングを促進していきたいと考えています。

# します」



## グリーンエネルギーのまちで 進める環境ビジネス

堺市は平成21年1月、先導的な取組みにより大幅な温室効果ガスの削減にチャレンジする「環境モデル都市」に認定されました。住宅への太陽光発電の普及促進など、グリーンエネルギー、エコロジーのまちづくりを進めています。

今や地球温暖化問題をはじめとする環境問題と事業活動は、切り離して考えられるものではなく、この問題に対応しなければ企業の存続が危ぶまれる時代になりました。これまでも堺市産業振興センターにおいて、技術開発等で中小企業の環境ビジネス分野の進出を支援しているところです。さらにその取り組みを進め、省エネルギー、リサイクル、バイオマス、新エネルギーといった有望分野への事業進出や事業拡大をめざす企業の支援を進めていきます。

とくに新エネルギー分野については、本市における企業の取り組み状況の把握に努め、産学連携や産産連携の補助金及び金融支援を拡充するなど、適切な支援策の打ち出しを行っていきたいと考えております。

## ものづくり伝統産業を元気に

堺には匠の技が光る伝統産業や、農産物など「堺もん」と呼べる様々な特産品があります。堺の産業を元気にするためには、まずは地元堺に住む市民の皆さんに、この堺もんの魅力をもっと知っていただくことが大切なことだと思います。「地産・地売・地消」を進めるため、情報発信や展示・即売会等の販売促進に対する支援をはじめ、商品の魅力アップに向けて、デザインや販路開拓、環境配慮などの面から専門家を企業に派遣するなど、地場産業を積極的に支援していきたいと考えています。

さらに堺の地場産業を広く情報発信するため、見て体験する産業観光ルートを創設し、歴史資源を活用した文化観光の振興とあわせ、国内外からの誘客促進にも努めます。

## 自他共栄の言葉とともに

私は、長年柔道に親しみ、その精神を人生訓の一つとしてきました。

その教えの中に、「自他（じた）共栄（きょうえい）」という言葉があります。「相手に対し、敬い 感謝することで信頼しあい、助け合う心を育み、自己のみでなく他人と栄える」という意味が込められています。市政運営にあたり、この言葉を糧に日々業務に取り組んでいます。

私のめざす「堺維新」に向けた道のりは、決して平坦なものではありませんが、自らの拠り所となる理念や信念を忘れることなく、直面する市政の課題に対し積極果敢に取り組み、その結果として堺のまち、そして産業が元気になるれば、堺で生まれ育った私にとって、これに勝る喜びはありません。

今後とも皆さまのご協力をいただきながら、堺の発展のため誠心誠意努めて参ります。

### 堺注染和晒興業会が学生とコラボレーション

# 若者感覚の注染手拭い 「堺一心染」で 新たな需要開拓



- 学生が創作した56のデザインから20案を商品化
- 新感覚の「堺一心染」、大産業祭で人気に

## 新商品開発と地域ブランドの 確立をめざして

夏の浴衣や手拭いなどを染色する技法として、堺の伝統産業にもなっている「注染(ちゅうせん)」。機械のない時代に浴衣などの反物生地を少しでも多く生産できるように工夫された匠の技で、現在も4事業所が注染加工を行っています。しかし時代の流れの中で、昭和40年頃からプリント印刷が普及。また、堺の手拭いは企業名などを入れた販促品や装飾用等全国の約4割を生産しながら、あまり産地であることは知られていません。

そこで、当センターでは平成19年9月から1年間にわたり、受注生産からの脱却をめざす注染事業者等と共同で、新商品の開発と地域ブランドの確立をテーマに研究会を開催。新たな取り組みの創出・育成を図るために各分野の専門家を交えて意見交換が行われ、様々なアイデアや提案が出されました。



第1回研究会の様相

## 伝統の技術で斬新な発想を染める

こうした気運の高まりの中で実現したのが、堺注染和晒興業会と京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科山本建太郎教授の研究室とのコラボレーションです。これは、若者に手拭いに興味を持ってもらうと同時に、学生が創作したデザインを商品化することを目的に企画されたもので、山本教授の指導の下、同大学の学生16人が参加しました。

デザイン創作にあたっては、学生たちに注染の良さを認識してもらうために工場見学を実施したり、事業者との意見交換なども行いました。その結果、できあがった56案のデザインは「若者たちがふだん何気なく目にし、気付く注目したもの」をモチーフにした力作ばかりで、目玉焼きやメガネ、クワガタなどを題材にしたユニークなデザインに、興業会の小松隆雄理事長は「我々には思いつかない斬新な発想が画期的。新たな需要開拓につなげたい」と期待しています。



小松 隆雄 理事長

## さらなる振興に向けて付加価値の高い商品を開発

京都工芸繊維大学大学院山本教授の研究室とのコラボレーションにより学生たちがデザインした56案のうち、まずは20案を商品化。「堺」で「一心」に「染」の伝統を守り続ける職人が、心を込めて染めあげた作品として「堺一心染(さかいいっしんぞめ)」と命名し、平成21年10月24・25日に開催された大産業祭で展示販売しました。伝統の技術を生かし若い感性で染めあげた「堺一心染」は新感覚の手拭いとして人気を博し、若い人たちが買っていく光景も多く見られました。

なお、「堺一心染」は当センター内のショップ「アピール」で販売しており、さらに堺市観光関連施設をはじめ様々なチャネルを活用しながら需要開拓を進める一方、興業会ではさらなる振興をめざし、より付加価値の高い商品を開発していく予定です。



注染技法説明の様子



事前デザイン相談の様子



干し場の様子

### ■ 「ぼかし」「にじみ」が独特の味わい

「注染」とは、布地の上に型紙を置き、染める部分を防染の土手で囲んで染料を注ぎ入れて染め上げる技法で、プリント技術では表現できない独特の「ぼかし」や「にじみ」が特長です。



### ■ 学生からは「繊細な技に感動」の声が…

コラボレーションに参加した学生からは、「手作業による繊細な技に、伝統と進歩を感じました」「職人の仕事の素晴らしさに感動しました」などの感想が寄せられたほか、山本教授からも「今回のプロジェクトは学生たちの感性を大いに刺激するなど教育的効果が非常に高く、互いの研鑽により予想を超えたレベルの高い提案ができたと思います。こうしたデザインを知的資源とし、今後のビジネスに活かしてください」とエールが送られました。



## 『第23回堺刃物まつり』を開催します！



今回第23回目を迎える堺刃物まつりが、2月13日(土)・14日(日)の2日間、堺市産業振興センターで開催されます。堺刃物の展示即売をはじめ、古式鍛錬(火づくり)の実演や刃物製造工程の実演、刃物のクリニック、魚のサバキ方教室の他、中華料理研究家・程一彦氏によるトークショーなど、楽しい関連イベントが多数ありますので、ぜひご家族でお越しください。なお今年も、「オールニッポンナイフショー」を同時開催します。

**日時** 平成22年2月13日(土)・14日(日)  
10:00～16:00

**場所** 堺市産業振興センター  
(詳しくは、巻末の地図をご覧ください)

**主催** 堺刃物まつり実行委員会

### イベント内容(予定)

#### ●堺刃物の展示・即売

パネル展示、包丁、生け花用・園芸ハサミ等の即売

#### ●刃物のクリニック、刃物供養

会場に持ってきていただいた包丁・ハサミを診断し、軽傷のものは研ぎ直しコーナー(有料)で修理、寿命の尽きたものは後日刃物供養をします。

なお、研ぎ直しコーナーは、先着順で受付数に限りがあります。

#### ●古式鍛錬の実演など

古式鍛錬(火づくり) 両日とも10:30～、13:30～の2回。  
刃物製造工程の実演。まぐろの解体・即売(14日のみ)。

#### ●体験イベント

包丁研ぎ方コーナー、りんごの皮むき大会・鉛筆削り大会(小学生以上)、葉っぱでバッタづくり、クイズラリーなど。

#### ●トークショー(無料・予約不要)

中華料理研究家・程一彦氏、14日の11:00～、13:30～の予定。

#### ●オールニッポンナイフショー

ナイフ類および関連機材の展示即売、出展作品のコンクール

●このほか、大阪府立堺工科高校生徒の鍛造作品の展示、堺市立錦西小学校金属アートクラブの作品展示、とれとれ市、堺などの特産品展示即売、そば打ち実演販売、太極拳、チアリーディング(13日のみ)、小学生絵画展など。



両日とも  
先着300名様に  
粗品をプレゼント

<お問い合わせ>

堺刃物商工業協同組合連合会 TEL:072-227-1001

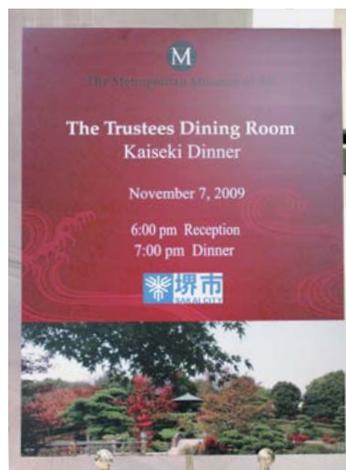
財団法人堺市産業振興センター TEL:072-255-1223

## メトロポリタン美術館から堺打刃物の魅力を発信

堺市では、昨年11月7日、米国ニューヨーク市にあるメトロポリタン美術館との協働で、堺のものづくり伝統産業である堺打刃物の魅力を発信しました。

同美術館で開催された「侍の芸術」展にあわせ、美術館内の会員専用食堂「トラスティーズ・ダイニングルーム」において特別和夕食会を共催。「トラスティーズ・ダイニングルーム」との協働による情報発信は全国の政令指定都市でも初めての取り組みです。

約130名の参加者を迎えて行われたセレモニーでは、映像を交えて堺市の歴史・文化や堺打刃物を紹介。夕食会では、2002年「料理の鉄人」優勝者でもある「日本橋ゆかり」の野永喜三夫料理長がホスト役を務め、堺打刃物を使って調理した会席料理を披露したほか、スピーチでは緻密で繊細な日本料理は用途別に使い分ける優れた切れ味の和包丁に支えられていること、日



本のプロの料理人が使用する高品質な包丁の9割が堺製であること、さらに和包丁は世界中のトップシェフたちに愛用されていることなど、堺打刃物の魅力をアピールしました。

参加者からは「堺の名前や千利休の“一期一会”の精神、美味しいお食事と堺打刃物のパフォーマンスは、一生忘れられないと思います。素晴らしい日本の文化に触れることができたことに心から感謝しています」など、多くの賛辞が寄せられました。



5万人を超える入場者で大盛況！

## 『堺商工会議所創立130周年記念

## 大産業祭 ～技・食・楽 堺ええもん大発見！～』を開催

平成21年10月24日(土)・25日(日)の2日間、堺市及び南大阪地域の地場産業をはじめとする中小企業の振興を図ることを目的に、関係団体のご支援ご協力のもと「大産業祭」を開催しました。

今年度は、堺商工会議所が130周年を迎えることを記念して、「堺商工会議所 創立130周年記念 大産業祭」という名称で、堺商工会議所、さかい新事業創造センターと3者共催で例年より規模を拡大して開催し、2日間で、51,000人の入場者があり、大盛況のうちに無事終了しました。

入場者の皆様には、伝統産業・地場産業から、現在そして未来へと挑戦し続ける環境関連産業まで、広範な企業の製品・技術等

を体験・体感していただきました。また、地域の農産物・水産物を地元で消費する「地産地消」をアピールして地域の産業活性化を図ると共に、様々なものづくり体験教室を通して、子どもたちにもものづくりへの興味や関心を高めてもらうこともできました。

さらに、大産業祭に合わせて開催された「サイクルフェスタ in SAKAI 2009」では、アンケート抽選会やニューモデル自転車の展示即売会が、「第17回堺線香まつり」では、押出機の実演のほか、線香作りやお香クラフトなどの体験コーナーが大変好評でした。



～環境・リサイクルビジネスの創出支援に向けて～

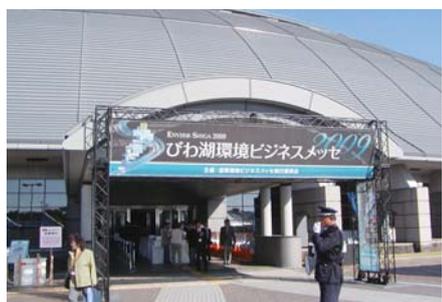
## 『びわ湖環境ビジネスメッセ2009』に出展

平成21年10月21日(水)～23日(金)の3日間、「環境と経済の両立」を基本理念に持続可能な経済社会をめざし、環境産業の育成振興を図るため、環境負荷を低減する製品・技術・サービス等を対象とした商談取引や情報発信・交流の場となる環境産業の総合見本市「びわ湖環境ビジネスメッセ2009」が開催されました。

今年は、305の企業・団体からの出展、38,970人が来場するなど過去最大規模であった昨年を出展数、来場者数ともにより、近年の環境に対する関心の高まりが伺えました。

当センターは「環境ビジネスKANSAIプロジェクト」の特設ゾーンにおいて、持続的な林地残材の搬出・運搬の仕組みづくりや資源効率を高めるための林地残材の用途開発をテーマにし

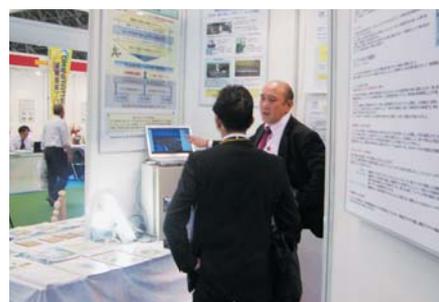
た「木質資源利用事業化研究会」、中小企業向け省エネビジネスの成功のため診断からシステム導入、アフターフォローまでのトータルソリューションをテーマにした「省エネビジネス研究会」、太陽光発電関連ビジネスで中小企業が独自の知恵と工夫を活かした仕組みづくりをテーマにした「新エネルギービジネス研究会」の3ブースを出展しました。木質研究会では、研究会メンバーで搬出した林地残材によって製作したコンセプト家具を参考出展するとともに、省エネビジネス研究会・新エネルギービジネス研究会では会員企業の優れた技術・製品・サービス等を出展するなど、ブースにお越しいただいた多数の方々からPRできました。



会場：滋賀県立長浜ドーム



木質研究会で製作したコンセプト家具



当センター出展ブース

## セミナー紹介

### 「マテリアルフローコスト会計国際標準化進捗状況等報告会」参加者募集

マテリアルフローコスト会計（MFCA）は、生産プロセスにおける資源やエネルギーのロスに着目して、総合的にコスト評価を行う原価計算、分析の手法です。このMFCAは、平成23年の国際規格（ISO14051）の発行に向けて、現在、規格の検討が進められています。本報告会では、国際標準化の進捗状況のほか、MFCAの活用方法、メリット等についてご紹介いたします。

開催日時	平成22年1月26日（火） 13:30～16:30
会場	中小企業基盤整備機構近畿支部 経営支援プラザUMEDA セミナールーム （大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル19階）
参加費	無料
定員	100名（先着順）
主催	経済産業省、㈱日本能率協会コンサルティング
共催	関西エコプロダクツ・フォーラム

#### <お問い合わせ>

㈱日本能率協会コンサルティング MFCA 事業事務局

TEL:03-3434-7332

申込方法等詳細は㈱日本能率協会コンサルティングホームページをご覧ください。

(<http://www.jmac.co.jp/service/event/detail.php?cid=401>)

### 第3回「健康長寿産業参入セミナー」参加者募集 ～「環境」と並ぶ価値、「健康」で勝負する～

近畿経済産業局では、「健康」をキーワードにした取組を実践する企業からの事例発表やディスカッション等を通じて、他分野から健康長寿産業への参入を促進するとともに、健康長寿産業の課題や今後の方向性を検討していくためのセミナーを開催します（全3回シリーズの最終回）。

開催日時	平成22年2月19日（金） 15:00～17:30
会場	大阪合同庁舎1号館 第1別館2階 大会議室 （大阪市中央区大手前1-5-44）
内容	「健康長寿産業の今後の方向性及び支援策」
参加費	無料
定員	150名程度
参加特典	「健康文化産業の応援ハンドブック」謹呈
主催	近畿経済産業局
共催	（財）大阪市都市型産業振興センター

#### <お問い合わせ>

近畿経済産業局 総務企画部 企画課 TEL：06-6966-6003

申込方法等詳細は近畿経済産業局ホームページをご覧ください。

(<http://www.kansai.meti.go.jp/7kikaku/health/3seminar.html>)

## 制度紹介

### 実習型雇用支援事業のご案内 ～人材を育成し、雇い入れる事業主を支援します～

厚生労働省では、「緊急人材育成・就職支援基金」により、新規成長・雇用吸収分野等において、非正規労働者など十分な技能・経験を有しない求職者を実習型雇用により受け入れる事業主の方に対して支援を実施しています。

#### ■実習型雇用とは…

原則として6ヵ月間の有期雇用として求職者を受け入れ、実習や座学などを通じて企業のニーズにあった人材に育成し、その後の正規雇用へつなげていくものです。実習型雇用やその後の正規雇用による雇い入れ等に対しては、助成金が支給されます。

#### ■事業の対象となる事業主

以下のいずれにも該当する事業主の方が対象となります。

- ハローワークにおいて実習型雇用として受け入れるための求人登録をしている事業主
- 受け入れる求職者を実習型雇用終了後に正規雇用として雇い入れることを前提としている事業主等

※企業規模や業種などの要件はありません。

#### ■助成金の支給内容

- 実習型雇用助成金  
実習型雇用により求職者を受け入れた場合  
⇒月額10万円
- 正規雇用奨励金  
実習型雇用終了後に正規雇用として雇い入れた場合  
⇒100万円  
※正規雇用奨励金は、正規雇用後6ヵ月の定着と、さらにその後6ヵ月の定着を要件とし、それぞれ50万円ずつ2回の時期に分けて支給されます。
- 教育訓練助成金  
正規雇用後にさらに定着のために必要な教育訓練を行う場合  
⇒上限50万円  
※教育訓練についてはOJTとOFF-JTを組み合わせることで実施することになります。

※上記以外にも支給要件等がありますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

<お問い合わせ> ハローワーク堺 職業相談部門 TEL:072-238-8301 部門コード41#

## 企業紹介

### コーケン・テクノ株式会社

技術集団の強みを生かした独自の溶射技術で顧客ニーズに対応し、産業発展に貢献。

金属やセラミック、超合金など様々な材料を溶かして吹き付けることによってコーティングする溶射技術は、いまや工業界において不可欠な存在として位置づけられています。コーケン・テクノ株式会社は、こうした産業発展に資する重要な基盤技術を自社で設計・開発する国内唯一の溶射機器総合メーカーとして事業を展開。独自の技術でガスフレーム式ワイヤー溶射機などを開発し、EAS 式アーク溶射機では日・英特許を取得するなど、開発エンジニアリング型のベンチャー企業として、2004年には中小企業創造活動促進法の認定を受けています。

同社の溶射機器は自動車、鉄鋼、電機関係など多岐にわたる大手メーカーに導入され、とくに自動車分野ではトップシェアを誇っています。そのベースにあるのは“社員全員が技術集団”であること。これが同社の強みで、顧客企業との折衝においても顧客のニーズを技術者の目線で把握し、ハード・ソフト両面で最適なシステムを構築。さらに「スピーディーな供給からアフターサービスに至るまで、一つひとつの対応にもお客様満足度を意識しています。おかげでリピート率が非常に良く、それだけ高く評価していただいている証でしょう」と秋本代表取締役は自信を深めています。

溶射というユニークな技術に注目する大手メーカーからの呼びかけに応じて共同開発も進んでおり、新たな分野での産業貢献とさらなる飛躍をめざす一方、ポテンシャルの高い中国・韓国をはじめ東南アジア市場への販路拡大も積極的に推進。秋本代表取締役は「将来はコーケン・ブランドを世界の標準ブランドへ」と意欲的なビジョンを描いています。



秋本 浩一 代表取締役



#### 会社概要

コーケン・テクノ株式会社  
所在地：堺市西区築港浜寺西町 5-2  
TEL：072-268-1201 FAX：072-268-1204  
URL：http://www.coaken-techno.co.jp/

### 三星インキ株式会社

「金・銀インキ」をはじめ、多様な顧客ニーズにきめ細かく応える商品開発で躍進。

創業大正 12 年、厳しい競争環境下にある印刷用インキ業界にあって、独自の地歩を築いている三星インキ株式会社。その躍進のきっかけは、昭和 44 年に開発した独自の「金・銀インキ」でした。

印刷用インキは、それまで真鍮の粉とワニスで印刷現場で調整していましたが、同社は普通の印刷用インキと同様に扱える 1 液タイプの金インキの開発に世界で初めて成功。高品質はもちろん、現場での作業効率と作業環境が劇的に向上することから、同社の金インキは販売量が急増。引き続き開発に成功した銀インキとあわせて、金・銀インキのトップメーカーとなりました。金・銀インキは昭和 51 年に国内特許、昭和 57 年に主要国の国際特許を取得し、現在では世界 60 数カ国に輸出されています。

また、環境配慮型インキの開発にもいち早く取り組み、平成 4 年に大豆油インキ (SOY-ECO) を日本で初めて開発。さらに製品化が難しいと言われていた水性グラビアインキ (エコマーク認定品) の開発にも成功し、印刷業界の環境対応に先駆的な役割を果たしています。その後も漆黒を再現した「墨インキ」や、ユボ紙にも使用できる「スーパー Z 速乾プロセスインキ」など画期的な新製品を次々と開発。また、文化遺産の複製に使用されるコロタイプインキの開発供給を通して、社会貢献にも寄与しています。

西澤代表取締役社長は「当社は、大手ではできないきめ細かなお客さまニーズへの対応で需要を開拓してきました。今後も培った開発力と技術力で、新たな市場開拓をめざします」と、力強く語ります。



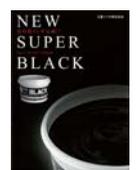
西澤 吉樹 代表取締役社長



SOY-ECOインキ



金銀インキ



墨インキ

#### 会社概要

三星インキ株式会社  
所在地：堺市西区浜寺船尾町東 1-103  
TEL：072-261-8161 FAX：072-264-1421  
URL：http://www.mitsuboshi-ink.co.jp/

# 「イベントホール・研修室・会議室」貸会場のご案内

イベントホールをはじめ、コンベンションホール、大会議室、セミナー室、小ホール（展示場）等をお貸ししています。

## 利用期間

1月4日から12月28日までの間にご利用いただけます。ただし、毎月第2・第4水曜日は貸付停止日とさせていただきます。なお、イベントホールの搬入・搬出に限り第2・第4水曜日も利用できます。

## 受付開始日

イベントホールについては展示会・見本市などにご利用の場合、使用日の1年前の日の属する月の初日から、その他のご利用の場合および本館会議室等については、使用日の6ヵ月前の属する月の初日からお申し込みを受け付けます。ただし、月の初日が土曜日・日曜日および休日（振替休日を含む）の場合は、最初の平日を受付開始日とします。

## 申し込みの受付

午前9時から午後5時15分まで。ただし、年末年始（12月29日から翌年の1月3日まで）は受け付けません。

## 申し込み手続き・支払い方法

所定の申込書に必要事項を記入し、お申し込みください。（申込時に全額納入）。なお、電話等で仮予約をされた場合は、受付後7日以内に当センターにご来館の上、使用料を添えてお申し込みください。

また、使用を取り消される場合は、所定の取消料をいただきます。本館の施設等を展示会等に使用する場合は、通常使用料の2割増となります。

## インターネットからの空き状況確認と仮予約

インターネットに接続したパソコンから、堺市施設予約システムを通じて施設の空き状況の検索や仮予約ができます。仮予約をする場合は、窓口で事前の登録が必要です。なお、インターネットからの仮予約には、一部制限があります。センターホームページURLからリンクしています。詳しくは、お問い合わせください。

## その他

- 広告、チラシ等の配布を予定されている場合は、必ず事前にご相談ください。
- 館内は禁煙です。ご協力をお願いします。
- 各会場からインターネットへ接続できる環境を整備しました。詳しくはお問い合わせください。

※下記料金表（ ）内の金額は、展示会・立食パーティー等に使用する場合の料金です。

● 受付・お申込み・お問い合わせ  
地域産業グループ TEL：072-255-0111



イベントホール（展示会形式）



イベントホール（ホール形式）



会議室1



セミナー室2

（単位：円）

種別		規模	午前 9時～12時	午後 13時～17時	夜間 18時～21時	昼間 9時～17時	昼夜間 13時～21時	全日 9時～21時	
イベントホール (平日)	ホール	846席	35,700	48,400	48,400	84,100	96,800	132,500	
	展示場	1,047㎡	46,400	63,200	63,200	109,600	126,400	172,800	
イベントホール (土・日・休日)	ホール	846席	42,800	58,100	58,100	100,900	116,200	159,000	
	展示場	1,047㎡	55,600	75,400	75,400	131,000	150,800	206,400	
本館	5階	会議室	1	168㎡ (60席) 12,200 (14,640)	16,800 (20,160)	16,800 (20,160)	29,000 (34,800)	33,600 (40,320)	45,800 (54,960)
			1-1	84㎡ (30席) 6,100 (7,320)	8,400 (10,080)	8,400 (10,080)	14,500 (17,400)	16,800 (20,160)	22,900 (27,480)
			1-2	84㎡ (30席) 6,100 (7,320)	8,400 (10,080)	8,400 (10,080)	14,500 (17,400)	16,800 (20,160)	22,900 (27,480)
			3	74㎡ (36席) 5,400 (6,480)	7,100 (8,520)	7,100 (8,520)	12,500 (15,000)	14,200 (17,040)	19,600 (23,520)
			4	61㎡ (24席) 4,700 (5,640)	6,200 (7,440)	6,200 (7,440)	10,900 (13,080)	12,400 (14,880)	17,100 (20,520)
	コンベンションホール		156㎡ (62席)	17,600 (21,120)	23,100 (27,720)	23,100 (27,720)	40,700 (48,840)	46,200 (55,440)	63,800 (76,560)
	4階	セミナー室 (研修室)	1	78㎡ (45席) 5,600	7,500	7,500	13,100	15,000	20,600
			2	110㎡ (63席) 8,600	11,700	11,700	20,300	23,400	32,000
			3	59㎡ (36席) 4,300	5,900	5,900	10,200	11,800	16,100
			4	158㎡ (108席) 11,700	15,500	15,500	27,200	31,000	42,700
5			141㎡ (90席) 11,400	14,800	14,800	26,200	29,600	41,000	
3階	会議室	5	84㎡ (30席) 6,100	8,400	8,400	14,500	16,800	22,900	
	ミーティングルーム		58㎡ (30席) 6,100	8,400	8,400	14,500	16,800	22,900	
2階	小ホール		158㎡ 14,100	18,600	18,600	32,700	37,200	51,300	
		託児室	79㎡ 7,100	9,300	9,300	16,400	18,600	25,700	

# 事業の夢に、まっすぐ。

どう使う。どう活かす。

**中小企業  
融資制度**

固定金利だから、最後まで金利が変わらない。

しかも、元金均等返済なので返済計画が立てやすいのも特長。

融資制度によって、それぞれ5ヵ月以内、6ヵ月以内、11ヵ月以内の元金据置期間をとることが可能です。

堺市(公共団体)の融資、だから安心。

保証機関も公的機関なので、さらに安心して活用できます。



無担保・無保証人制度から、有担保制度まで多彩にご用意。  
くわしくは、窓口にてご相談ください。

低利率だから、活用しやすい。  
保証料を加えても、とても活用しやすい融資制度です。

制度名	融資金額
堺市中小企業振興資金融資(無担保) (大阪府市町村連携型中小企業融資制度)	1,000万円以内
堺市中小企業協同組合振興資金融資	1組合:5億円以内 1構成員:1億円以内
堺市中小企業成長支援資金融資 (フロンティア資金融資)	5,000万円以内
堺市中小企業振興資金融資(有担保)	5,000万円以内
堺市ものづくり投資促進資金融資	2億円以内(無担保2,000万円以内)
堺市創業者支援資金融資	2,000万円以内(無担保500万円以内) 但し、総資金の4/5以内(無担保2/3以内)
堺市資金調達円滑化資金融資	5,000万円以内

保証合計額	保証料率		
	300万円以下	500万円以下	500万円超
堺市産業振興センター	年0.75%	年0.95%	年1.15%
大阪府中小企業信用保証協会	協会所定		

※貸付利率等は金融情勢により変動しますので、お申し込み時にご確認ください。  
※その他、所定の信用保証料、連帯保証人、不動産担保等が必要です。

堺市・財団法人 堺市産業振興センター  
SAKAI CITY

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5

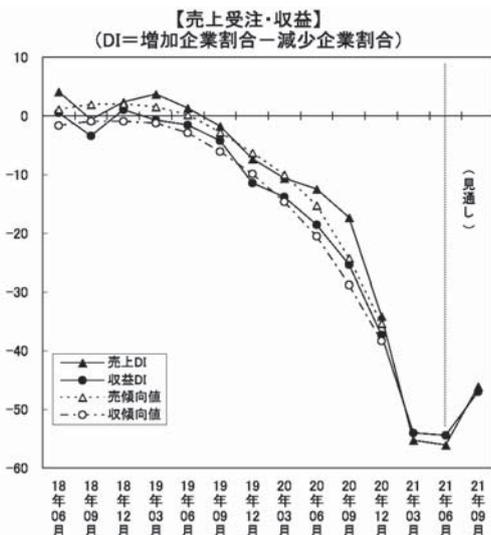
TEL.072-255-8484 FAX.072-255-5162

(融資お客様専用フリーダイヤル) ☎0120-072-232 <http://www.sakai-ipc.jp>

融資の力で、受けとめる。

## 中小企業の景気動向調査 (大阪府下1,421社)

## 年末へ向けてV字回復なるか!?



## 売上受注・収益コメント

7~9月期の売上DIはマイナス46.2(前回比+9.9ポイント)、収益DIはマイナス43.5(前回比+10.9ポイント)となり、売上・収益DIともに大幅に改善しています。

飲食業以外の全業種で、売上・収益DIともに改善しており、特に卸売業が大きく改善しています。

10~12月期は、全業種で改善の見通しで、売上DIが13.3ポイント、収益DIが8.4ポイント持ち直す見通しです。特に運輸業では、売上DIが27.3ポイント、収益DIが28.9ポイントとV字回復の見通しです。

見通し通りにDIが改善すれば、昨年10~12月期と同程度まで戻ることになり、今後の景気回復への足がかりとなりそうです。

(情報提供) 大阪信用金庫 総合研究センター

# i 中小企業支援総合案内所

堺市産業振興センターでは、中小企業経営者の経営課題に対して総合的にサポートするため、中小企業支援総合案内所・経営相談コーナーを設置しています。

中小企業支援総合案内所では、中百舌鳥地域の産業支援機関\*が行っている支援事業やサービス等をご案内するとともに、経営相談コーナーでは、中小企業の経営に関する様々なご相談に対応しています。

また、各産業支援機関をはじめ、国・府等の冊子、パンフレット、チラシ等も置いてありますので、ご自由にお持ち帰りいただけます。

ご利用は無料ですので、中小企業の皆様、どうぞお気軽にご利用ください。

\*堺市産業振興センター、堺商工会議所、さかい新事業創造センター



## ■中小企業支援総合案内所

【開設日時】月曜日～金曜日（祝休日・年末年始を除く） 午前10時～12時、午後1時～5時

【対象】堺市内の中小企業者 【相談員】東海 秀明、辻尾 脩、永井 貴之、橋本 大三郎（交代制）

●お申し込み方法：直接、案内所・経営相談コーナーへお越しください。（予約不要）

※予約制ではありませんので、しばらくお待ちいただくことがあります。ご了承ください。

●お問い合わせ：中小企業支援総合案内所 **TEL: 072-255-0313**（直通）



## ■特許情報コーナー

●利用日時：月曜日～金曜日（祝休日・年末年始を除く） 午前10時～午後5時

●特許情報検索端末：特許電子図書館（IPDL）を自由に閲覧できる検索用端末（パソコン）を設置

●知的財産関連図書：一般の方から企業内での知財部門担当者まで活用していただけるよう入門書をはじめとして、専門書、法律関係書籍を取り揃え、閲覧・貸出をしています。図書一覧は、センターHPの知財関係図書をご覧ください。

<http://www.sakai-ipc.jp/modules/contents/index.php/content0078.html>

## ■特許相談窓口

① 特許情報活用支援アドバイザーによる相談（原則毎月第2・第4月曜日）

特許電子図書館（IPDL）の利用方法、特許情報検索に必要な基礎知識、特許情報の活用などに関する相談

●日時：1月12日（火）、18日（月）、2月8日（月）、22日（月）、3月8日（月）、15日（月）午後1時～5時 先着3名（相談日ごと）

② 弁理士による相談（原則毎月第1・第3金曜日）

特許、実用新案、意匠、商標の出願手続きなど産業財産権制度に関する相談

●日時：1月22日（金）、2月5日（金）、19日（金）、3月5日（金）、19日（金）午前10時～12時、午後1時～4時 先着5名（相談日ごと）

●お申し込み方法：事前予約（電話）が必要です。（予約受付開始日など詳しくは、堺市産業振興センターのホームページをご覧ください。） <http://www.sakai-ipc.jp/modules/contents/index.php/content0102.html>

●お申し込み・お問い合わせ：産業振興グループ **TEL: 072-255-9330**

（協力）大阪府立特許情報センター、社団法人 発明協会 大阪支部

## 🏠 ショップ『アピール』営業中!

当センター1階にあるショップ『アピール』では、堺の包丁や鉢、線香、敷物、昆布、さらし、ねまき、和菓子等のほか、貝細工、人造真珠・ガラス細工、つまようじなど南大阪6市1町の地場産品や全国各地の地場産品を販売しています。

営業時間：午前10時～午後5時 定休日：毎月第2・第4水曜日及び年末年始（臨時休業有り）



堺市産業振興センターでは、これまで看板、サイン等の施設名称の表示については、「堺市産業振興センター」と、前身である南大阪地域地場産業振興センターの愛称「じばしん南大阪」を併記してきました。しかし、当センター発足後3年を経過したことや、総合的な中小企業支援サービス拠点として一層の周知を図るため、看板、サイン等を変更し、施設名称の表示を「堺市産業振興センター」に統一しましたのでお知らせします。

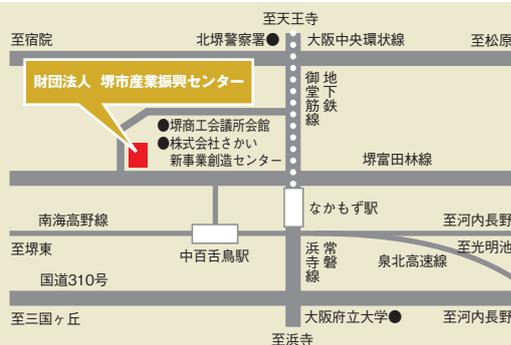
さかいIPC press 第15号 2010年1月発行

編集・発行

財団法人  
**堺市産業振興センター**

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5  
TEL: 072-255-3311 (代) FAX: 072-255-5200  
E-mail: info@sakai-ipc.jp

<http://www.sakai-ipc.jp/>



◎南海高野線中百舌鳥駅より約300m  
◎地下鉄御堂筋線なかもず駅より約300m  
※駐車場は、隣接の来客用駐車場（無料）がございますが、できるだけ電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。



この冊子は再生紙を使用しています。